



揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

卒業証書授与式 ~卒業生21名 新たな世界に“挑む”~

【3年生を送る会】

感謝の気持ちを発表や企画で表した「送る会」

卒業式を翌日に控えた3月2日(金)、生徒会主催による『3年生を送る会』が開かれました。音楽選択者による歌の発表、軽音楽同好会による演奏、生徒会役員によるビデオやクイズの企画、どれも卒業生への感謝の気持ちを込めた発表でした。これから新たな一歩を踏み出す卒業生にとって、大きな励みとなったことでしょう。



【卒業式】

体育館に響いた「ありがとうございました」という声

来賓・保護者の皆様をお迎えし、平成29年度の卒業証書授与式が挙行されました。証書を受け取った卒業生が、職員席に向かって大きな声で「ありがとうございました。」と言って深々と一礼をする姿に涙をこらえきれない式となりました。

生徒の送辞では「在校生として、先輩方が築いた中条校の伝統を守り、受け継ぎ、精一杯精進します。」また、卒業生の答辞では、「中条校で学び得たことを糧とし、自らが選んだ道を堂々と歩いていきます。」と力強い言葉がありました。そして来賓の皆様からは「悩み苦しむこともあるかと思うが、一人ぼっちではない。高校の友は利害損得のない一生の友。」など温かいお言葉を頂戴しました。健康に注意して元気に過ごしてほしいと願います。



一年生“チャレンジ授業” ~1年最後の取り組み~

野菜作りや炭焼きなど、この一年様々な活動にチャレンジしてきた一年生。今回は、種から育てた地域の特産品“西山大豆”を使って、豆腐づくりと味噌づくりにチャレンジしました。体験活動が大好きな一年生。今回も積極的な姿が目立ちました。

【豆腐づくり】

6つの班に分かれ、地域の方にご指導をいただきながらのチャレンジです。丁度良い堅さに固めるのが難しいのですが、写真のように、まるで“豆腐屋さん”の豆腐のような出来映えでした。最後に皆で試食をしましたが、大豆の甘さが引き立つ最高のお豆腐でした。「母ちゃんに食べさせたかった」という声が聞こえてきました。優しい一年生です。



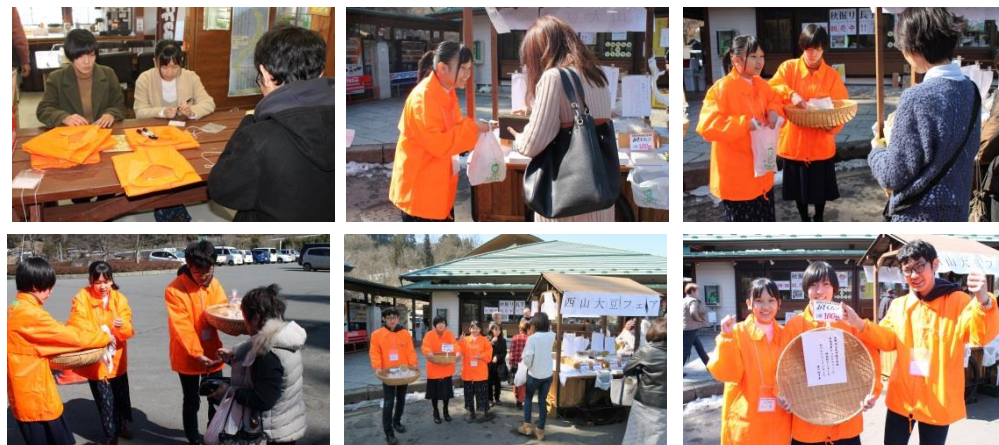
【味噌づくり】

一年後の“強歩大会”や“森林の日”で豚汁やきのこ汁に使われるとても大事な味噌を仕込みました。菌が移らないようにその日は朝食での納豆も我慢。おいしい味噌が出来上がることでしょ。



中条校発“みそマフィン” ついに ~販売デビュー~

中条校生が今年開発した“みそマフィン”。“中条ふれあいまつり”、“みそフェスタ in 善光寺”と2回のふるまいの機会を通して改善を重ねてきた“みそマフィン”がついに商品化となりました。3月3日と4日、“道の駅中条”で行われた“西山大豆フェア”で、中条校と道の駅のコラボ商品として販売デビューとなりました。4日には、下の写真のように生徒も参加させていただいて、“みそマフィン”を宣伝しながら販売をさせていただきました。おかげさまで200個ほどのマフィンが90分で完売となりました。



授業の一コマ“豚の眼球の解剖”

年度末のこの時期、一年生の“科学と人間生活”という授業では、豚の眼球の解剖を行っています。豚の眼球は比較的人間の眼球に近いということで、豚の命に感謝しながら使わせていただいています。各自一つずつ眼球を解剖し、綺麗な水晶体と網膜を見ることができました。

